

事務事業名		学校屋体等非構造部材耐震化事業【24新規】			会計	一般会計					
課等名		学校教育課 係等名 施設係			事業種別	政策	開始	24	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	22	義務教育の充実								
目的	対象(誰・何を)	小中学校の屋内運動場、武道館の非構造部材(吊り下げ式の照明器具、天井)				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	大地震の際にも安心・安全に施設が利用できる。地域の避難施設として機能できる。					中学校の体育館、武道場		13		
	向上させたい上位施策の成果指標	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒数					小学校の体育館		21		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	吊り下げ式の照明器具の落下防止措置ができた施設数			0	0	22	34			
	定性目標										
	<p>○小中学校の耐震化対策は校舎や体育館施設のいわゆる躯体(骨組みなど主要な構造部分)について補強策を講じ、平成23年度までに全ての小中学校を完了した。</p> <p>○とりわけ各小中学校の体育館は、各地区の避難施設と指定されており、構造物の耐震化だけでなく非構造部材(窓ガラス、照明、天井等)についても安全を確保する必要があり、調査・設計し、結果に基づいて必要な措置を図ることが重要事項として国からも提言されている。</p> <p>○平成24年度からは、学校施設環境改善交付金のメニューとして非構造部材の耐震化工事のうち400万円以上の工事は、対象となる。</p> <p>○飯田市においては、平成24年度までに該当施設の窓ガラス飛散防止と天井落下について対応済みである。</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	<p>1 市内小中学校の体育館、武道場の照明器具の耐震化調査・設計</p> <p>①調査の結果に基づき天井を有する体育館・武道場の非構造部材(照明器具、バスケットゴール等)の耐震化(振れ止め及び落下防止)の設計委託を行った。</p> <p>②天井を有しない体育館は、照明器具等や梁の状態が目視により確認できるため、振れ止めや落下防止の手法を統一した設計にすることにより経費の節減に努めた。</p> <p>2 移動式の足場による工期の短縮や工事の手法についても検討をした。</p> <p>3 足場を組むため、照明器具等の修理点検の検討も併せて行った。</p>				調査・設計実施施設数			34施設			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	16,632	6,312	22,000						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源			16,632	6,312	22,000						
人件費計(千円)②		0		1,430							
正規職員所要時間				400							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	16,632	7,742	22,000						
事業内容・目標達成状況の振り返り		24年度については、小中学校の屋内運動場及び武道場の調査設計を行った。25年度には天井の無い施設を行い、26年度に天井のある施設を改修したい。									
改革改善の考え方	①問題点	文部科学省の方針でもあるように、平成27年度までに体育館等の非構造部材の耐震化を行う必要がある。									
	②改革提案	単年では、難いため24年度に設計調査、25年と26年に改修する。									